

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道 八雲町

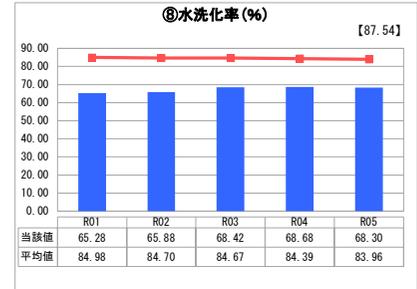
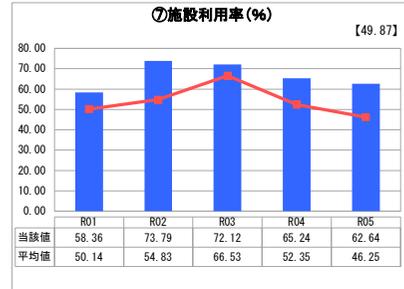
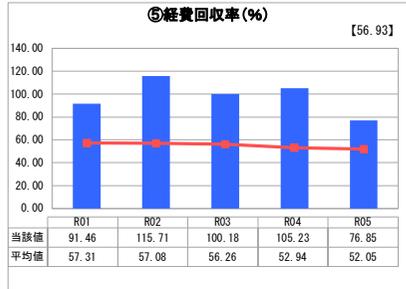
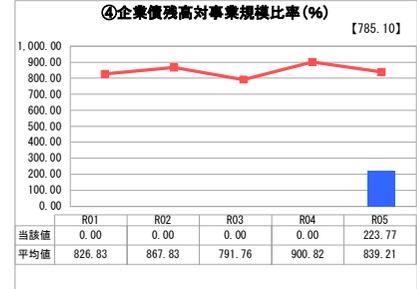
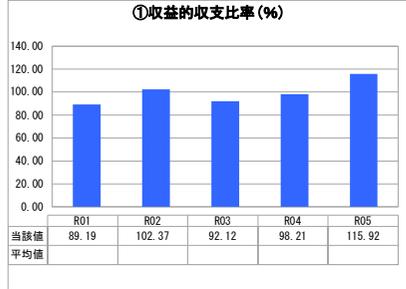
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	8.96	92.67	3,630

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,779	956.08	15.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,309	0.69	1,897.10

**グラフ凡例**

- 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、100%を超えたため、健全な経営であるが、これを維持するためにもさらなる収入増とコスト削減に努めていくことが求められる。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体の平均値を下回っているが、今後は施設の大規模更新により、多額の起債借入が発生する。ストックマネジメントに基づき、計画的に建設改良事業を進めることで、起債借入額を平準化し、企業債残高の抑制に努めていく必要がある。

⑤経費回収率については、類似団体平均値を上回っており、概ね健全な経営である。

⑥汚水処理原価については、類似団体平均値を上回っており、効率的な汚水処理を行っていると言える。

⑦施設利用率については、類似団体平均値を上回っているため、概ね適切な施設規模であると言える。

⑧水洗化率については、類似団体平均値を下回っており、水洗化率向上の取組等による改善が必要である。

以上のことから類似団体と比較して概ね健全な経営であるが、企業債残高の抑制に努め水洗化率向上に向けた取り組みが必要である。

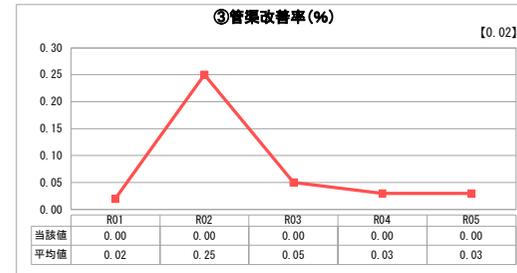
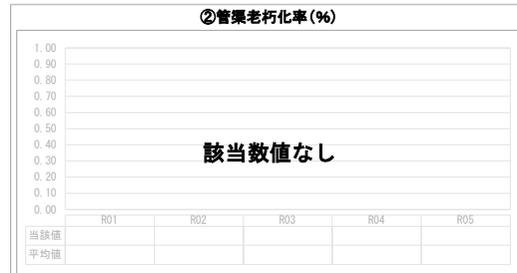
### 2. 老朽化の状況について

供用開始後26年を経過しているが、管渠については、いまだ耐用年数を経過していないため、現時点では老朽化しているとは言えない。

しかし、徐々に老朽化が進んでいくことが予想されるため、計画的な更新を検討していく必要がある。

処理場を含む施設全体で見ても徐々に老朽化が進んでいるため、計画的な更新を検討していく必要がある。処理場の機械設備等の更新やマンホールポンプの更新を順次行う予定である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現状では、類似団体と比較すると概ね良好な経営であると言えるが、企業債残高の抑制や水洗化率向上の課題は残る。

また、将来的に人口減少による使用料収入の減、施設老朽化による更新費用の増大など、厳しい経営事情が予想されることから、常に先を見据えた計画的な経営を行っていく必要がある。

そのため、令和6年4月から公営企業会計を適用し、令和7年5月から使用料改定を進めて行くこととしている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。